

4月9日

報告会

障害者のディーセント・ワーク実現に向けて
求められる施策のあり方に関する調査研究

就労継続支援A型事業利用者への
ヒアリング調査を通して

ILO100周年記念助成企画

ILOが今年、創立100周年を迎えるのを記念するための事業の一環として、障害者雇用・就労研究会（代表・法政大学名誉教授松井亮輔）は標記調査を実施いたしました。精神障害のある利用者の方々へのヒアリング調査を通し、A型事業所の役割や課題等を明らかにするとともに、それらの方々のディーセント・ワークを実現するうえで求められる施策のあり方について検討することを目的としたものです。

調査を通して見えてきたことについて、下記のように報告する機会を設けましたので、多くの方にお集まりいただければと願っています。

■ 日時 4月9日(火) 13:00～16:00

■ 会場 衆議院第2議員会館 第1会議室

■ プログラム

シンポジウム 前半テーマ『本調査で見えてきたA型事業の現状・課題』
後半テーマ『国際規範を踏まえた、A型事業の今後のあり方』

コーディネーター 松井亮輔（法政大学名誉教授）、藤井克徳（きょうされん専務理事）

パネリスト 久保寺一男（全Aネット理事長）、中村敏彦（ゼンコロ会長）

増田一世（やどかりの里常務理事）、赤松英知（きょうされん常務理事）

■ 事前申込制(締切 4月3日(水))/入場無料

■ 主催 障害者雇用・就労研究会

(構成団体 就労継続支援A型事業所全国協議会、ゼンコロ、きょうされん)

研究会事務局(きょうされん)

〒164-0011 東京都中野区中央 5-41-18-4F / TEL 03-5385-2223

参加申込

お名前		(他 名)
所属		
連絡先 (E-mail 等)		

申込先 FAX 03-5385-2299 / E-mail zenkoku@kyosaren.or.jp